



ログイン &gt;

お問い合わせ &gt;

論文ダウンロード &gt;

HOME

土壌物理学会とは

入・退会案内

刊行物

投稿規定

学会大会案内

学会賞

事務局

リンク

## 土壌物理学会とは

### 学会長挨拶：

この度、2015年4月より新しく土壌物理学会の会長に就任致しました、長 裕幸です。歴代28代目で創立57年目を迎えるということで、歴史の重みと責任の大きさを感じています。前溝口会長が頑張って推進されてきた学会の活性化路線を、引き続き発展させていきたいと思っています。特に、学会活動のIT化に関しては、学会の目玉として充実させていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

土壌物理学とは、地球上の陸面、特に地下水の影響を受ける表層土中内における、水分、エネルギーや物質の移動、変換、貯留の原理や過程、あるいはそこで生じている諸現象を物理的に解明する学問であるといえます。そのためには、土中内に存在する物質全てが研究対象となり、固相、液相、気相間における物理的、化学的、生物学的な関係を明らかにしていく必要があります。近年、コンピュータ性能、IT技術の進歩に伴い、データベースの整備、シュミレーションソフトの開発、測定技術の高度化が急速に進展しており、研究内容も多様化し、農学の中の基礎学問的な位置づけから地球物理学の中の一分野へと大きく展開しているように思います。

国際的には、土壌科学(Soil Science)の中における土壌化学や土壌生物学と並ぶ一分野として古くから認知されていますが、日本国内では、「土壌科学」という学問体系そのものの一般への認知度が低く、大学においても学科や学部として成立していない現状があります。その結果、土壌物理学は農学部の中の物理的な部門である農業工学等の分野あるいは土壌に関連する分野で個々に発展してきた経緯があり、それが、土壌物理単独で学会を有するという、日本独自の進化を遂げてきたのだと思います。粘土に関する物理化学的な研究等はその代表的なものでしょう。この世界にも類を見ない学会の存在価値は高く、大きなポテンシャルを有しているといえます。

どのような組織でも、新陳代謝の存在しない組織はいずれ滅んでしまう運命にあります。現在、学会は、団塊世代の退職に伴う会員数の減少に直面しており、一つの転換期を迎えていると言えます。今後、10年、20年後を見据えて、どのような学会を目指していくのか本格的な議論を進めていく必要があります。基本的には、若い世代に受け入れられる学会になっていく必要があると思います。前会長が目指した、社会的に存在感のある学会、学会活動のIT化の推進と情報発信力の強化、学際的に活躍できる学会の実現は大きな課題であり、今後とも継続的に努力していく必要があります。これらの課題を解決すべく、学会の舵取りを間違わないよう、この2年間に歴史的にも有意義なものにしていきたいと考えています。学会員の皆様におかれましても、積極的な学会活動へのご参加、ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 歴史：

土壌物理学会は、土壌物理に関する研究の進歩と普及を図り、農業技術及び環境科学の発展に貢献することを目的として、1958年に土壌物理研究会として発足しました。会員数は約300名と小さな学会ですが、59年の歴史を持っています。1985年に更なる発展を目指して、土壌物理学会と改称し、今日に至っています。

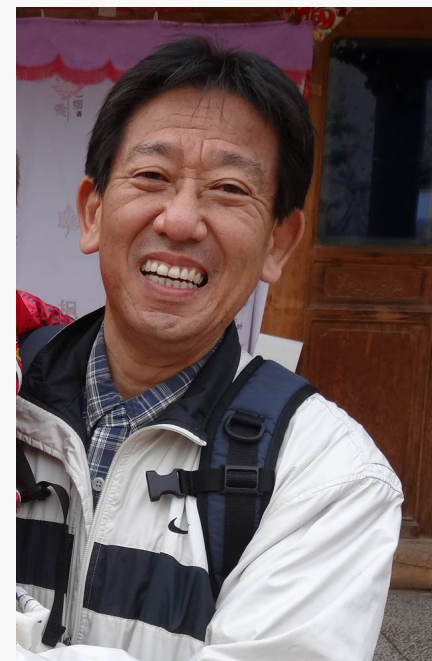
[第27期](#) [第26期](#)

### 活動：

会員の最新の研究成果を発表する場として、学会誌「土壌の物理性」を、1997年までは毎年2号、それ以降は毎年3号、刊行しています。2017年4月1日現在で135号までになりました。本誌には約半世紀にわたり、我が国の農業そして海外の研究動向を反映した研究成果が収録されています。先人の研究には多くの貴重なヒントがあります。これを広く普及し、研究の進展・深化に寄与することも学会の大切な役割であると考え、現在、132号までの記事を土壌物理学会ホームページに無料で公開しています。学会では、会誌の発行の他に、毎年1回シンポジウムとポスター発表を行っています。シンポジウムのテーマは会員にとって有益だと考えられる最近の主要な研究トピックから選び、講師には会員、非会員を問わず適任者を選んでいきます。また、シンポジウムに参加できなかった会員のために、会誌でシンポジウムの報告記事を掲載しています。

シンポジウムと同時に、ポスター発表も行っています。情熱に燃える院生から完成の域に達した研究者まで多くの方が発表していますが、特に若い研究者には、発表をする、自分の身近な組織外の専門家の意見を直接聞くことができる絶好の機会となっています。

また、学会誌「土壌の物理性」に掲載された原著論文の中から特に優秀な論文に土壌物理学会賞（論文賞）を授与しています。さらに、年一回の全国大会ポスターセッションにおいて優秀と認められたポスター発表には土壌物理学会学会賞（ポスター賞）を授与しています。



長 裕幸

佐賀大学農学部  
地圏環境学研究室

[土壌物理学会会則ダウンロード >](#)



- ▶ HOME
- ▶ 土壌物理学会とは
- ▶ 入・退会案内
- ▶ 刊行物
- ▶ 投稿規定
- ▶ シンポジウム

- ▶ 学会大会案内
- ▶ 学会賞
- ▶ 事務局
- ▶ リンク
- ▶ ログイン

JSSP JAPANESE SOCIETY OF SOIL PHYSICS  
土壌物理学会



Copyright © JSSP All Rights Reserved.